

市立四日市病院 研修医 2 年目 魚見航平

私は三重県の鈴鹿市出身ですが、今回の地域研修で御浜町に来るまでは伊勢志摩より南には来たことがなく、勢和多気 JCT を通過して、もう少しかな？と思ってからの距離に絶望したことを今でも鮮明に記憶しています。

紀南病院での研修はすべてが新鮮でした。まず指導医の増田先生の知識量には圧倒されました。今まで感染症には苦手意識を感じており、苦手を克服するチャンスと考え一から感染症の勉強に取り組みました。普段はあまり経験することのない伊勢赤十字病院への転院搬送（なんと往復 4 時間！）も、2 度経験することができました。いつ急変するかわからない患者さんが目の前にいる中で、救急車の揺れと戦いながらの移動は非常にストレスフルでした。

診療所研修はさらに新鮮な体験の連続でした。設備が少ない中での診療で、身体診察の重要性を再認識しました。住民 20 名弱の小森診療所に行かせていただいた際には、ドキュメンタリー番組でしか見たことのないいわゆる限界集落（と言って差し支えないと思います）を肌で感じることができ、強い衝撃を受けました。また、市街地と異なり病院までの所要時間が長く、救急隊の裁量大きい（例えば山間部の住民が心筋梗塞を起こした際には、救急隊の裁量でドクターヘリを呼ぶ必要がある）ため、紀和診療所長の森本先生が救急隊との勉強会を定期的で開催するなど、密にコミュニケーションをとっているのが印象的でした。

今回の地域研修は新鮮な体験の連続で、あっという間の 4 週間でした。最後になりますが、指導医の増田先生はじめ、ご指導くださった先生方、スタッフの方々、誠にありがとうございました。



鈴鹿中央総合病院 研修医 2 年目 竹中喬紀

初めて鈴鹿から紀南病院に来たときは高速道路を使わなかったため、4 時間以上かけて移動しました。遠いということは理解していたつもりでしたが、改めて同じ県内でも遠いのだと思い知りました。南に移動するにつれ建物や街灯が少なくなり、夜間に移動していたこともあり、不安でいっぱいでした。

紀南病院での研修は病棟業務だけでなく、診療所研修、ふるさと訪問など地域に赴いての研修が多くあり、研修病院で経験することのない診療をみることができました。普段の診療では意識していなかった患者さんの退院後の生活に目を向けることの重要性を学びました。鈴鹿に比べて高齢者の割合が高く、それだけでなく高齢独居の割合も高いと感じました。担当患者さんの中に高齢で認知症もあるにも関わらず独居だと知り、退院後生活していけるのか不安になったことを覚えています。

病棟での業務は研修病院でもあまり経験していませんでしたが、指導医の先生に教えていただきながら携わらせていただくことができました。日々議論しながら今後の治療方針を検討でき、とても充実した毎日過ごすことができました。

病院の周囲には鬼ヶ城などの景勝地も多くあり、勤務時間以外も充実していました。

1 ヶ月と短い間でしたが、指導医の原田先生、病院のスタッフの方々にはとてもお世話になり、ありがとうございます。今後また紀南病院で勤務することもあるかもしれませんので、その際は宜しくお願い致します。



令和 3 年 9 月 研修医通信 vol.112

鈴鹿中央総合病院 研修医 2 年目 宇田有希

私は兵庫県出身で三重には大学 1 年生から来ました。大学 6 年間で初期研修 2 年間で三重県の大学病院と市中病院で勉強してきました。地域基盤型実習などで伊勢に行ったり、鳥羽に遊びに行ったり、熊野の花火を見に行ったりはしていましたが、紀南病院まで来たのは初めてでした。初めて来た時は鈴鹿からとても遠くて不安でいっぱいでした。到着してみると病院職員の皆様にも患者様方にも優しく、温かく接していただき、とても楽しく一ヶ月を過ごすことができました。ご高齢の方が多く、また医療機関が少ない中、どのように治療して退院するのか、その後の生活はどうするのかと様々な職種の方々が連携して医療を行う姿勢を学びました。診療所実習では患者さんと一見何気ないお話をしているようで、しっかりと情報収集を行い、診察する術を間近で体験させていただきました。このコミュニケーション力は素晴らしいと感動しました。今後このようなコミュニケーション力を身につけられるように、より一層努力していきたいです。研修以外でも、地域の美味しいものをたくさん食べたり、観光に行ったりしました。この地域について知ることができ、また、地域の方々に親切に接していただきとても楽しく過ごすことができました。ここでしかできない研修を通して得るものはとても多く、この 1 ヶ月間の経験を生かして、疾患ではなく患者さん中心の医療を目指して精進していきたいと思います。最後になりますが指導医の河野先生をはじめ、優しく指導してくださった先生方、スタッフの皆様、誠にありがとうございました。

